

令和 3 年度

由仁町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書

令和 4 年 7 月

由仁町教育委員会

— 目 次 —

1	点検・評価の基本的な考え方	1 ページ
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の実施方法	
	(4) 事務評価委員の構成	
	(5) 点検・評価の公表	
2	教育委員会の活動状況	3 ページ
	(1) 教育委員等の構成	
	(2) 教育委員会の開催	
	(3) 教育長、教育委員の活動状況	
	(4) 教育委員会関連委員会の活動状況	
	(5) 教育関連の表彰	
3	規則、要綱の制定について	8 ページ
	(1) 教育委員会規則	
	(2) 要綱	
4	新型コロナウイルス感染症に伴う対応	9 ページ
	(1) 休校、休館の状況	
	(2) 社会教育関係事業の状況	
5	教育行政執行方針に基づく主要施策・事務等の取組状況	11 ページ
	(1) 一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育の推進	
	(2) 連携・協働に基づく教育環境づくり	
	(3) 安全で安心な地産地消による学校給食の充実	
	(4) 生活に潤いと豊かさをもたらす生涯学習の推進	
6	事務評価委員会の総括意見	16 ページ

1 点検・評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

由仁町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成・公表することとしています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、令和3年度教育行政執行方針に示された4項目の基本施策に基づいて実施した事務事業としました。

- 一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育の推進
- 連携・協働に基づく教育環境づくり
- 安全で安心な地産地消による学校給食の充実
- 生活に潤いと豊かさをもたらす生涯学習の推進

(3) 点検・評価の実施方法

令和3年の基本施策に基づく71項目の主な取組における取組内容、成果や課題を明らかにして施策評価を行いました。

個別の事務（取組）については、以下の観点（基準）により評価を行いました。

- A：期待する成果があったもの
- B：期待される成果が得られたが、なお解決する課題があるもの
- C：期待する成果が得られなかったもの

(4) 事務評価委員の構成

「由仁町教育委員会事務評価委員会設置要綱」に基づき、事務評価委員2名を委嘱しています。

職 名	委 員 名	役 職 等
委 員 長	前 田 直 樹	会社役員 元由仁町教育委員
副 委 員 長	清 水 理 絵	自営業 現保護者

(5) 点検・評価の公表

点検・評価終了後、その結果をとりまとめた報告書を由仁町議会に提出するとともに、報告書を町民に公表します。

2 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議は原則として公開により、毎月1回（定例）を基本として開催するほか、必要に応じて臨時の会議を開催しています。

この会議において、4名の教育委員が教育行政の基本方針の決定や教育に関する規則の制定など様々な議題について審議しています。

（1） 教育委員等の構成（令和3年11月1日現在）

職 名	氏 名	委員就任年月日	
教育長	田中 宣行	初 任	平成28年10月1日
教育委員	浅井 徹照	初 任	平成21年10月1日
		職務代理者	令和元年10月8日
教育委員	窪田 裕司	初 任	令和元年10月7日
教育委員	河端美津恵	初 任	令和2年10月1日
教育委員	水上美紀子	初 任	令和3年10月22日

※ 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正による新たな教育委員会制度が施行されたことに伴い、教育長は就任日より教育委員会の代表者となる。

※ 各職の任期は、教育長が3年間、教育委員が4年間である。

（2） 教育委員会の開催

種別	開 催 日	付 議 案 件 等
定例	令和3年4月9日	(議案) ・学校薬剤師の委嘱について (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・教育委員会事務局職員の人事異動について 外8件
定例	令和3年5月17日	(議案) ・教職員住宅等管理運営規則の一部を改正する教育委員会規則の制定について (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・学校評議員の委嘱について 外5件

臨時	令和３年５月２１日	(議案) ・令和３年度公立小学校教職員人事について
定例	令和３年６月９日	(議案) ・令和３年度由仁町一般会計補正予算(教育費)について 外１件 (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・通級に係る小中一貫について 外２件
定例	令和３年７月７日	(議案) ・令和３年度における由仁町就学援助の額について (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・由仁町議会第２回定例会教育行政報告について 外２件
定例	令和３年８月５日	(協議) ・次回の会議日程について (報告) ・通学路における危険個所の確認状況について 外１件
臨時	令和３年８月１９日	(議案) ・令和４年度から使用する教科用図書の採択について
定例	令和３年９月３日	(議案) ・令和３年度由仁町一般会計補正予算(教育費)について 外１件 (協議) ・令和３年度ゆに教育の日について 外２件 (報告) ・教育委員の任期満了について 外６件
定例	令和３年１０月６日	(協議) ・令和３年度ゆに教育の日の実施について 外３件 (報告) ・教育委員の任命について 外３件
臨時	令和３年１０月２８日	(協議) ・令和３年度由仁町教育委員会表彰について
定例	令和３年１１月１１日	(協議) ・由仁町教育総合会議について 外１件 (報告) ・令和３年度ゆに教育の日一斉公開授業について 外３件

定例	令和3年12月9日	(議案) ・令和3年度由仁町一般会計補正予算(教育費)について (協議) ・由仁町総合教育会議について 外2件 (報告) ・夢づくり子ども教育委員会の報告について 外3件
定例	令和4年1月14日	(議案) ・令和3年度由仁町一般会計補正予算(教育費)について 外1件 (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・由仁町議会第4回定例教育委員会行政報告について 外1件
定例	令和4年2月10日	(議案) ・学校給食費の改定について (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・令和3年度新体力テストの結果について 外5件
定例	令和4年3月2日	(議案) ・令和3年度由仁町一般会計補正予算(教育費)について (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・令和4年度由仁町教職員辞令交付式について 外2件
臨時	令和4年3月4日	(議案) ・令和4年度公立小中学校教職員人事について
臨時	令和4年3月17日	(議案) ・令和4年度公立小中学校教職員人事について

(3) 教育長、教育委員の活動状況

日 付	主な内容	会 場
令和3年4月2日	教職員辞令交付式	役場3階大会議室
令和3年5月12日	空知教育局職員の市町教育委員会訪問	役場3階委員会室
令和3年6月30日	教育委員学校訪問	小中学校
令和3年7月15日	北海道市町村教育委員研修会	中止

令和3年10月28日	教育委員辞令交付（水上教育委員）	役場応接室
令和3年11月1日	ゆに教育の日一斉公開授業	小中学校、認定こども園、保育園
令和3年11月16日	由仁町教育委員会表彰	役場3階大会議室
令和3年11月29日	夢づくり子ども教育委員会	役場3階大会議室
令和3年12月20日	教育委員学校訪問	小中学校
令和3年12月23日	由仁町総合教育会議	役場3階大会議室
令和4年1月3日	第74回由仁町成人式	由仁町文化交流館
令和4年2月28日	空知教育局市町教育委員会訪問	役場3階委員会室
※ 入学式等の学校行事について新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小し実施したことから教育委員は欠席		

（４） 教育委員会関連委員会の活動状況

委員会名	開催日	会場
由仁町社会教育委員の会	令和3年6月23日 令和3年11月16日	役場3階大会議室
由仁町スポーツ推進委員の会	令和3年5月27日	書面会議

※由仁町スポーツ推進委員の会会議については、緊急事態宣言の発令により、書面会議とした。

（５） 教育関連の表彰

ア 由仁町教育委員会表彰

本町のスポーツ・文化その他教育の振興に功績のあった個人及び団体を表彰しました。

- ・表彰式開催日 令和3年11月16日
- ・表彰式会場 由仁町役場3階大会議室

区分	被表彰者
文化振興	・由仁町身障福祉協会 (町民文化祭への出展を昭和62年から33年間継続)

イ がんばる子ども表彰

部活動や学校生活において顕著な成績を残した子どもたちを表彰しました。

区 分	被 表 彰 者	推 薦 者
学芸賞 (個人)	・ 北村 恭汰 (小 2 絵画)	学校
体育賞 (個人)	・ 春日 桜 (中 1 水泳) ・ 佐野 佑晏 (中 1 野球) ・ 佐野 耀真 (中 1 野球) ・ 窪田 洋祐 (中 2 野球) ・ 今村 栞愛 (中 3 サッカー)	教育委員会
	・ 高橋 優梨愛 (小 6 水泳)	学校
	・ 野島 渚生 (小 5 剣道) ・ 平田 篤基 (小 5 剣道)	少年団
努力賞 (個人)	・ 山田 菜々美 (中 3 3年間無欠席) ・ 円山 美羽 (中 3 3年間無欠席) ・ 本田 煌稀 (中 3 3年間無欠席) ・ 橋口 悠陽 (中 3 3年間無欠席) ・ 高野 楓人 (中 3 3年間無欠席) ・ 清水 智貴 (中 3 3年間無欠席) ・ 齊藤 瑞稀 (中 3 3年間無欠席) ・ 北村 暖奈 (中 3 3年間無欠席) ・ 北川 夢叶 (中 3 3年間無欠席) ・ 賀集 光佑 (中 3 3年間無欠席) ・ 遠藤 悠杜 (中 3 3年間無欠席)	学校
	・ 黒田 珠里 (小 6 バスケットボール) ・ 富樫 悠真 (小 6 野球) ・ 宮本 倖志 (小 6 野球)	少年団

3 規則、要綱の制定について

(1) 教育委員会規則

件 名	公布年月日
教職員住宅等管理運営規則の一部改正	令和 3 年 5 月 17 日
由仁町学校運営協議会規則	令和 4 年 3 月 4 日
由仁町教育委員会事務局組織規則及び由仁町立学校管理規則の一部改正	令和 4 年 3 月 4 日
由仁町教育委員会事務局組織規則の一部改正	令和 4 年 3 月 30 日

(2) 要綱

件 名	公布年月日
由仁町教育委員会事務局処務規程の一部改正	令和 4 年 3 月 30 日

4 新型コロナウイルス感染症に伴う対応

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、陽性者の発生に伴い学校の臨時休業などの対応を行いました。また、社会教育関係事業については、規模の縮小や感染対策を講じながら実施しましたが、関係団体の事業を含め一部事業中止を余儀なくされました。

(1) 休校、休館の状況

ア 小中学校

内容等	期間等
小学4年生学級閉鎖	1月20日から1月28日まで
小学校臨時休業	1月22日から1月25日まで

イ 社会教育関係施設

施設名	休館期間等
勤労福祉センター	5月17日から6月20日まで
町体育館	5月17日から6月20日まで
文化交流館（指定管理）	5月17日から6月20日まで
由仁小学校体育館（学校開放事業）	4月1日から3月31日まで

(2) 社会教育関係事業の状況

事業名	対応
第74回由仁町成人式	規模縮小し実施 ※来賓人数の制限
由仁町青少年育成協議会主催 ・YUNI 子ども防災キャンプ ・わくわく体験塾 ・由仁町子ども会親睦かるた大会 ・南空知子ども会親睦かるた大会	中止

4町合同青少年リーダー研修	9月5日実施予定だったが、緊急事態宣言の発令により、11月28日に延期し実施
第32回全町自治区対抗ソフトボール大会	中止
由仁町スポーツ少年団主催 ・スポーツ少年団スポーツ交流会 由仁町陸上競技協会主催 ・第15回由仁町陸上記録会 ・第25回由仁町健康ロードレース 由仁町水泳協会主催 ・第22回由仁町水泳大会 由仁スポーツクラブ ・第22回冬季ミニバレーボール大会	中止
おはなし会	3回中止
小さな本箱	6回中止

5 令和3年度教育行政執行方針に基づく主要施策・事務等の取組状況

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
(1) 一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育の推進	学校教育	①学力向上の推進	全国学力・学習状況調査の全校実施	○		●		◆ 全国学力・学習状況調査は、小学6年生及び中学3年生を対象に実施した。 調査結果については、小学校、中学校ともに国語、算数・数学で全国平均を下回った。 調査の分析結果を踏まえ、各学校において学力向上を目指し改善策を講じた。
			教職員定数の加配等	－	●			◆ 中学校では数学で指導方法工夫改善加配1名、小学校では国語の専科指導加配1名を配置して、学習指導の充実を図った。
			放課後・長期休業期間等を活用した学習指導	○	●			◆ 小中学校で、希望者を対象とした放課後学習会及び長期休業期間の学習指導を行った。
			由仁町確かな学力向上プログランの推進	－	●			◆ 学力向上プランや家庭の約束十か条の継続的な取り組みを行った。
		②学習習慣の改善や生活習慣の育成	小学校での授業前朝自習、朝読書の推進	－	●			◆ 授業前に自習や読書の時間を設け、児童の意識改善を図った。
			検定料の助成	○	●			◆ 英語検定や漢字検定を受験した小中学生に検定料の一部助成を行った。
		⑤特別支援教育の推進	特別支援教室・通級指導教室の開設	○	●			◆ 小中学校に特別支援教室8学級、由仁小学校に通級指導教室1学級を開設した。
			特別支援教育支援員の配置	○	●			◆ 特別支援教育支援員を小学校に3人、中学校には2人配置した。
		⑥体験学習の推進	農業体験等の実施	○	●			◆ 小学校では、由仁土地改良区やそらち南農協青年部の協力により、稲作体験（たらい稲、田植・稲刈）を実施した。
			町内企業での職場体験の実施	○	●			◆ 町内企業で中学校2年生が職場体験を実施した。
⑨いじめ・不登校問題への対応		⑧キャリア教育の推進	地域クリーン作戦の実施	－			●	◆ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。
			学校と行政の連携によるいじめ根絶の取組	○	●			◆ いじめについては、各学校で「いじめ防止基本方針」を策定して対応を整備しているほか、年2回のアンケートの実施により実態の把握に努めた。不登校については、担任の家庭訪問、個人面談を行うとともに、スクールカウンセラー等を活用した。 また、小中学校生徒指導協議会の中で、情報共有を図った。
		⑩生徒指導・教育相談の充実	スクールカウンセラーの活用	○	●			◆ 18日（1日当たり4時間）配置し、生徒・保護者との面談や教職員との情報交換、助言を行った。情報交換、助言を行った。
			小中学校生徒指導協議会の開催	－	●			◆ 5回実施し、行政と学校間で共通認識や情報共有を図った。
			教育相談員による相談体制の充実	○	●			◆ 教育相談員による児童生徒や保護者の悩み相談を行った。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
(1) 一人ひとりの個性や能力を伸ばす教育の推進	学校教育	①情報教育の推進	パソコン操作や情報モラル・マナー指導の実施	—	●			◆ パソコン操作のほか、インターネットやSNSなどによるネットトラブルの防止に向け情報モラルやマナー指導を行った。
		②国際理解教育の推進	外国語指導助手（ALT）の配置	○	●			◆ 小中学校に1名ずつALTを配置し、英語や外国語活動の指導を行った。また、就学前の認定こども園や保育園にも週1回程度、ALTを派遣して英語に触れる機会を確保した。
		③プログラミング授業の必修化	プログラミング授業等の実施	○	●			◆ 地元企業と連携し、ドローンを活用したプログラミング授業などを行った。
		④学校ICT環境の推進	児童生徒一人一台端末の活用	○	●			◆ GIGAスクール構想の実現に向け、端末の操作、授業支援など、GIGAスクールサポーターや地域おこし協力隊を活用し教員の支援を図った。
		⑤道徳教育の充実	「私たちの道徳」の活用	—	●			◆ 各学校の道徳の授業で、指導資料「私たちの道徳」を活用した。
		⑥人権教育の推進	人権擁護委員の活用	—	●			◆ 道徳の時間に人権擁護委員による人権教育を行った。
		⑦体力向上の推進	全国体力・運動能力等調査の実施、1校1実践の取組	○	●			◆ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した。 調査結果は、全国平均対比で小学生女子が上回っているほかは、小学生男子、中学生は男女ともに全国平均を下回る結果となった。 ◆ 小学校では縄跳び、中学校では持久走トレーニングなどを実践した。
		⑧フッ化物物洗口事業の取組	中学校における武道必修に伴う剣道の実施	—	●			◆ 体育の授業で剣道に取り組んだ。
		⑨ピロリ菌検査の取組	小学校での実施	○	●			◆ フッ化物物洗口は、小学1年生から6年生までの希望者を対象にし、新型コロナウイルス感染症対策として学年と場所を3つに分散して実施した。
		⑩安全教育の充実	中学校での実施	○	●			◆ ピロリ菌検査については、保健福祉課が主体となって、中学2年生を対象に実施した。
		⑪防犯教育の充実	防犯教室・交通安全教室等の開催、避難訓練の実施	○	●			◆ 小中学校において計画どおりに教室等を実施した。
		⑫学校評価の推進	小中合同防災訓練の実施	○	●			◆ 1日防災学校として、避難所設置訓練のほか、消防署等の協力を得てオンライン講習会を行った。
		⑬地域連携の推進	ゆに教育の日一斉公開授業の実施	○	●			◆ 「ゆに教育の日」として、11月1日に小中学校とにじろこども園、三川保育園で一斉公開授業を実施し、保護者や地域住民、延べ188名が参観した。
		⑭学校評議員制度の活用	学校評議員制度の活用	—	●			◆ 地域に開かれた特色ある学校づくりを進めるため、地域住民の意見・意向を把握し、学校経営・運営に反映することを目的に学校評議員（8名）の委嘱を行った。
		⑮学校教育活動の推進	学校だより・学級通信の発行	—	●			◆ 小中学校において保護者や住民に学校だより等を発行し、情報提供を行った。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
(2) 連携・協働に基づく教育環境づくり	学校教育	① 幼保小中の連携、交流の推進	幼児の小学校訪問、小学生の中学校一日体験入学	—		●		◆ 中学校の一日体験・幼児の小学校入学説明会は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、オンデマンド配信で行った。
			夢づくり子ども教育委員会の開催	—	●			◆ 夢づくり子ども教育委員会では、小学生13名を子ども教育委員に委嘱し、「みんなで進めよう！いじめのない、楽しい仲間づくり～学校生活を楽しくする取り組みについて～」をテーマに児童生徒がいじめのない学校づくりに向けた取り組みについて意見交換した。
		② 小中連携教育の推進	小中一貫教育の実施	○		●		◆ 実施計画を基に各種事業を進める予定であったが新型コロナウイルスの影響で事業の一部の着手となった。
			コミュニティ・スクールの導入	○	●			◆ 目的や組織体制、組織のあり方等、学校と協議を重ね、設置に向けた準備を進めた。 また、協議会の設置に伴い、規則の制定や関係規則の改正を行った。
		③ 教職員の資質能力向上	教職員等研修会への支援	—		●		◆ 学校教育の直接の担い手である教職員の資質向上のため、教育振興会の活動に対し支援を行ったが、町教委主催の研修事業は新型コロナウイルスの影響で中止した。
			教育振興会への支援	—	●			
			教職員の校務の効率化	—	●			◆ 事務補を各校に配置するとともに校務支援システムを両校に導入し、教職員の校務の効率化に努めた。
		④ 小学校社会科副読本の編集	第5次改訂版の活用	—	●			◆ 由仁の歴史や移り変わり等を記した小学校社会科副読本については、小学校3・4年生の社会の授業で活用した。
		⑤ 学校施設設備の改修、整備等	学校施設等の適切な維持管理	—	●			◆ 新型コロナウイルス感染症予防のため由仁小学校トイレの汚水管を改修したほか、小中学校の施設修繕を実施した。
		⑥ 通学路の安全確保	関係機関との連携、環境整備等	○	●			◆ 道路管理者や警察、ボランティア団体と連携し、通学路の安全確保に努めた。
(3) 安全で安心な地産地消による学校給食の充実	学校教育	⑦ スクールバスの運行	安全で効率的な運行	—	●			◆ 小学校の統合に伴い、スクールバスを8路線で運行した。 また、土曜日など中学校部活便として4路線で運行した。
		⑧ 就学援助の充実	要保護・準要保護世帯への就学援助費の交付	—	●			◆ 就学援助については、令和4年度新入学児童生徒に対して、入学準備に係る学用品費を3月に繰り上げて支給した。
		① 食育の推進	栄養教諭による食育指導の取組	○	●			◆ 望ましい食習慣や食と健康について発達段階に応じた指導を行った。 ◆ 給食日より通じ、保護者への周知啓蒙を図った。
			由仁のものの学校給食の実施	○	●			◆ 産業振興課と連携し、町内で収穫された野菜や肉を使った給食を食育として年3回実施した。
			安心・安全な学校給食の提供	○	●			◆ 給食配送用コンテナを活用し、衛生管理の徹底に努めた。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
(4) 生活に潤い豊かさをもち、生涯学習の推進	社会教育	①家庭教育の充実	家庭教育講話（親学セミナー）の開催	－	●			◆ 子供たちの発達段階に応じた親の心構えや役割等を学習する家庭教育講話（親学セミナー）を開催した。
		②青少年の健全育成	防災キャンプの開催	○			●	◆ 例年、防災意識を高め、必要な知識や技能を身につけることを目的に実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。（星槎道都大学との連携事業）
			4町合同リーダー研修会の開催	－	●			◆ 栗山町、南幌町、長沼町との4町合同リーダー研修「ご当地グルメ探しの旅」を開催し、由仁町からの11名の児童が参加した。
		③心とからだ子ども元気プランの定着	心とからだ子ども元気プランポスター募集事業	－	●			◆ 「早寝、早起き、朝ごはん運動」等の4つの取組を推進するため、今年度も小中学生を対象に啓発ポスターの募集を行い、受賞者を表彰するとともに作品を文化祭に展示した。
		④子どもへの安全対策の推進	ゆにっ子見守り隊・防犯協会・PTA連合会等との連携	○	●			◆ 登下校時の安全対策や不審者情報の共有を図った。
		⑤生涯学習機会の提供	高齢者大学「ユニ・カレッジ」の開催	○	●			◆ 例年、4月に入学式を実施し、20講座程度実施しているが、新型コロナウイルスの影響を受け、入学式を8月に遅らせ、12講座と講座回数を減らして実施した。
			英会話教室の開催	－	●			◆ 日常会話を通じた英語に触れる機会の創出として、A L Tを講師とした英会話教室を週に1回開催したが、新型コロナウイルス感染症の影響で12回中止した。
		⑥女性の社会参加の促進	女性セミナー「フイーカ」の開催	○	●			◆ 「きらつとLife〜つなぐ〜」と連携し、企画・運営を行った。今年度は9回の講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で7回の実施となった。
		⑦ゆめつく館の充実	子どもの読書活動推進事業	○	●			◆ 想像力と豊かな感性を育み、楽しみながら読書に親しむことを目的として「おはなしマツプカード2」を周年実施した。
				○	●			◆ 読書週間に絵本展を実施し、親子で読書を楽しむ機会を整えた。
								◆ 「あおぞらとしよかん」は、感染対策の観点から会場を屋外にし、安心して楽しめる環境で行った。
			資料の収集保存	○	●			◆ 必要な資料の収集に努め、また町民からのリクエストに対し資料提供を行った。
			管理運営の効率化の検討	－	●			◆ 管理運営について、引き続き検討することとした。
		⑧読書活動の推進	学校に対する図書支援	○	●			◆ 小学校に対し「小さな本箱」事業と学級文庫貸出を実施し資料提供を行った。
		⑨家読の推進	家読の推進	－	●			◆ 家庭読書の習慣と自主的な読書活動を推進するため、読書通帳を作成し、「どうぞの本」コーナーで寄贈図書を提供した。
		⑩文化芸術、郷土芸能活動の奨励	由仁町文化連盟への支援	○	●			◆ 文化連盟が主催する、由仁町文化祭の実施に対し補助金を交付するとともに、事業実施時に人的協力を行い、支援した。
		⑪文化交流館の充実	指定管理者制度による管理（5年間の内4年目）	－	●			◆ 施設の管理運営の効率化を図るため、指定管理者制度を導入している。
			事業実行委員会への支援	○	●			◆ 有名演美家のコンサートなど様々な文化事業を実行委員会が行うため交付金を交付し支援した。 なお、3度のコンサート事業が実施され、住民の芸術文化に対する意識高揚の推進に寄与した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
(4) 生活に潤い豊かな暮らしをすすめるための推進	社会教育	⑫各種スポーツ大会等の開催	全町自治区対抗ソフトボール大会	－			●	◆ スポーツ推進委員や由仁スポーツクラブが主体となり、ゆっくりに由仁ウォーキングを計画し参加者募集を行ったが、申込人数が最低催行人数を下回ったため中止とした。
			ゆっくりに由仁ウォーキング	－			●	◆ また、全町自治区対抗ソフトボール大会と冬季ミニバレーボール大会については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。
			冬季ミニバレーボール大会	－			●	
			スポーツ推進委員の活動の充実	－		●		
		⑬体育関係団体への活動支援	スポーツ協会・スポーツ少年団への支援	○	●			◆ 補助金を交付し、スポーツ協会及びスポーツ少年団の活動を支援した。
			小中学生の体育施設使用料の無償化	－	●			◆ 小中学生の使用料無償化措置を継続し、子どもたちの利用促進に努めた。
			総合型地域スポーツクラブとの連携	○		●		◆ 補助金を交付したほか、町が主催する行事に協力を得たことで連携を図った。
			がんばれ子ども応援事業による支援	○	●			◆ スポーツで活躍する町内の子どもたちが全国大会に出場した際に旅費を助成し支援した。
		⑭体育施設の整備	社会体育施設の維持管理	○		●		◆ 施設の維持管理のため、各施設の必要な修繕を行った。
								◆ 町民プールについては、天井の一部劣化に伴い落下の危険があったことから令和2年12月2日から令和3年9月5日まで休館とした。
								◆ 町体育館については、電気設備の故障や蒸気配管の破裂により、令和3年12月1日から令和4年3月1日まで休館とした。
			伏見台球場の指定管理制度による管理 由仁町民プールの指定管理制度による管理（5年間の内4年目）	－	●			◆ 施設の管理運営の効率化を図るため、指定管理者制度を導入している。

6 事務評価委員会の総括意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項の定めにより、教育委員会から提出を受けた資料（主要施策4項目に基づく点検評価項目56項目、具体的な取組等71項目）について、令和4年7月13日に行われた教育委員会事務評価委員会において教育委員会事務局からの説明を受け、その後意見交換を行いました。

令和3年度由仁町教育委員会点検・評価報告書の作成にあたっては、令和3年3月4日開会の令和3年由仁町議会第1回定例会において教育長が示した教育行政執行方針の内容に沿って整理区分し、それぞれの評価項目による個別事務・事業の取組について、A～C評価による自己採点をされ、その成果や課題等が記載されており、年次教育行政を理解する上で重要な報告書となっており、報告書にある分野ごとの特筆的事項について当委員会としての意見を述べさせていただきます。

点検・評価結果に基づいた意見

（1）教育委員会の活動状況

教育委員会定例会を12回、臨時会を5回開催して、各教育委員から課題解決に向けた積極的な発言、慎重な議案審議による円滑な会議運営が図られており成果をあげています。

また、教育長、教育委員の活動においても学校訪問や総合教育会議を通じて教育現場の取組や児童・生徒の授業状況の把握に努めるとともに、町部局との積極的な情報共有や意見交換がなされ、未来を見据えた連携がしっかり図られていることを評価します。

がんばる子ども表彰にあっては、学芸、体育、努力の各表彰部門合計で23名の表彰実績で児童・生徒にとって大きな励みとなりました。今後は各種検定合格者なども表彰対象として考慮するような対象区分の拡大などについても検討していただくことを望みます。

（2）新型コロナウイルス感染症に伴う対応

感染拡大の状況に応じた学級閉鎖や臨時休業、さらには国の緊急事態宣言の発令による社会教育施設の一時休館等にも適切な判断と対応がなされ、このことが結果として町民への感染拡大の防止へと繋がりました。そのような中でも

予定していた事業を時期や回数を減らすなど柔軟に取り組まれていたことを評価します。

（３）学校教育

多項目にわたり積極的な事業推進が図られ、特に一人ひとりの個性を伸ばす教育の推進にあっては、時代に即応する取組が着実に実施されております。

○小学６年生及び中学３年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果は３科目について全国平均を下回る結果となりましたが、指導方法工夫改善加配１名、専科指導加配１名を配置するなどの対応をされています。学力向上の推進の取組は重点化されるよう望みます。

○小中学校の特別支援教室・通級指導教室では対象者が年々増加傾向にあることで、体制強化のために教員を増やし体制を整えています。今後も児童・生徒の心に寄り添う支援、指導を期待します。

○令和元年度から開始した検定料助成事業では、受験者も年々増加傾向にあり、主体的な学びの育成、学習意欲の向上といった面で数値には表れない効果が上がっているものと思います。今後は助成額や種類の拡充についても検討されることを望みます。

○いじめ問題は極めて深刻であります。アンケートの実施により実態把握に努めていますが、重要なことは把握後の対応であり、表面化しない実態もあるものと推察できます。引き続きスクールカウンセラー等を有効活用され、目配り、気配りによるきめ細やかな対応を熱望するところです。

○全国的にインターネットやＳＮＳによる犯罪や被害が後を絶ちません。情報教育の推進にあっては、情報モラル・マナー指導が重要であることから、児童・生徒への指導はもちろんのこと、保護者に対しても継続的な情報提供や指導を願います。

○ＩＣＴ環境の整備では、令和２年度に児童・生徒に一人一台のタブレットが整備され、令和３年度から本格使用がはじまり、ＧＩＧＡスクール構想の実現に向けた取組が展開されました。支援にあたっては専門的知識を有する地域おこし協力隊員を活用され成果に結びついていますが、協力隊員の任期も念頭に継続的、計画的支援を願います。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、由仁町の児童・生徒は総じて体力が全国平均を下回る結果となりました。学校での単一種目の実践では効果は現れませんので、日常的な運動実践へ繋がる指導等を研究されることを望みます。

す。

○防災訓練は実体験こそが有効な手段でありますので、訓練のための訓練や訓練が形骸化、マンネリ化しないよう工夫しながら、関係機関の適切な支援を得て継続実施されることを望みます。

○小中一貫教育については、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の推進までには至っておりませんが、中1ギャップの解消や補完的教育の実施、さらには異年齢交流によるコミュニケーション能力の向上などといった多くのメリットが生まれることから、感染症対策を整えたうえで確実な推進による定着を願います。

○コミュニティスクールについては、設置体制を整備されスタートラインに立つことができました。定着するには一定の時間がかかるものと思いますが、開かれた学校づくりを地域と共に歩む意義は大きなものがあります。学校を応援する組織が一步ずつ成長されることに期待を寄せます。

（４）社会教育

少子高齢、人口減少、情報化の進展、多様な価値観などの様々な社会変化の中にあって、生涯学習社会を後押しする社会教育の充実と推進に向けた各種事業が実施されました。

○家庭教育については、就学時健診時にあわせて「親学セミナー」を開催するなど開催方法に工夫が見られました。最も身近でありながら陰に隠れがちな家庭教育は全ての教育の出発点となります。子をもつ全ての親が安心して子育てをできるよう取組の充実を期待します。

○歴史ある高齢者大学「ユニ・カレッジ」では、入学式を遅らせたため、講座回数が減りましたが、多くの高齢者が生きがいを持って受講されていることは、大変喜ばしく思えます。今後も、多彩なプログラムによる事業展開を願います。

○A L Tによる英会話教室についても回数を減らして実施したところですが、受講者が毎年固定化されている傾向にあるようですので、新規受講者層の開拓に向けたアプローチも必要であると感じたところです。また、国際教育、国際交流といった違った視点によるA L Tの活用事業についても学校教育との連携を図り研究されることを望みます。

○ゆめつく館の運営については、楽しみながら本に親しむことを目的に、創意・工夫による事業創出がなされています。特に幼少期における感性の育みは将来の人格形成にも大きく影響を与えることとなりますので、これまで同様にゆめ

つく館に行って楽しい、見て楽しい、読んで楽しい、親しみのある図書館として運営されることを望みます。

○文化交流館事業実行委員会への支援によって、3つのコンサート事業が実施され文化事業の振興に繋がりました。自主・自立による実行委員会による取組は評価できます。今後とも連携を保ちつつ適切な側面支援の継続を願います。

○社会体育事業については、各種スポーツ大会等や関係団体の事業が新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされたところですが、従前同様にスポーツ推進委員などを活用して事業を推進されることを望みます。

○町体育館、町民プール、町民三川プール等の社会体育施設は経年劣化による修繕が多くなっています。利用者の安全確保を最優先して施設管理と運営をされることを望みます。

(5) 全体講評

令和3年度の事務事業についても、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症による様々な影響を受けての事業執行となったところですが、感染対策を十分に行いながら一定の事業を推進されたことに対し、教育行政推進関係者に敬意を表します。

特に、国の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金による教育関連事業は創意をもって取り組まれ成果をあげたものと認識します。

社会の変化はこれまで以上に急速化しています。ICT関連は最たるものであり、これらに対応すべき教育環境整備にあっては遅れをとることはできません。未来への人材教育投資にあっては、国の様々な補助金、交付金を有効に活用し財源を確保して推進されることを望みます。

最後に、令和4年度以降の教育行政執行にあたっても、学校教育においては教育現場と、社会教育においては地域団体と緊密な連携を保持され、新型コロナウイルス感染症との共存中で、多岐にわたる実効性ある事業を着実に推進されることを望み当委員会の意見報告とします。